

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成26年9月11日(2014.9.11)

【公表番号】特表2013-538996(P2013-538996A)

【公表日】平成25年10月17日(2013.10.17)

【年通号数】公開・登録公報2013-057

【出願番号】特願2013-527158(P2013-527158)

【国際特許分類】

F 16 H 7/08 (2006.01)

【F I】

F 16 H 7/08 B

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月16日(2014.7.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ブレード型チェーンテンショナ(T)であって、

主壁(MW)と、前記主壁から突き出ている傾斜部(R)とを備えるブラケット(K)と、

前記ブラケット(K)に動作可能に結合されたテンショナブレードアセンブリ(BAS)であって、ポリマーのシュー(S)と、前記シューに結合されたばね(G)とを備え、前記シューは前記傾斜部(R)上に支えられた自由端(S2)と、前記ブラケット(K)に旋回可能に接続されたピボット端(S1)と、前記自由端と前記ピボット端との間に延在する中央体(S3)とを含む、テンショナブレードアセンブリと、を備え、

前記ブラケット(K)は、凹状の内側ピボット面(PS)を含むピボットポケット(P)を備え、

前記シュー(S)の前記ピボット端(S1)は、凸状の外側ピボット面(S5)を含むピボットバレル(S4)を備え、前記ピボットバレルは前記ピボットポケット(P)と係合して前記シュー(S)の前記ピボット端(S1)を前記ブラケットに旋回可能に接続し、前記ピボットバレルの前記外側ピボット面(S5)は前記ピボットポケット(P)の前記内側ピボット面(PS)に摺動自在に当接して前記ピボットバレルが前記ピボットポケット内で往復角運動可能となっており、

前記ピボットポケット(P)の前記内側ピボット面(PS)と前記ピボットバレル(S4)の前記外側ピボット面(S5)は、それぞれ部分円弧円筒面を備えており、

前記ピボットポケット(P)の前記内側ピボット面(PS)は、前記内側ピボット面の第1と第2の対向端部(PS1, PS2)の間で360度未満の最大円周範囲に延在し、前記内側ピボット面の前記第1と第2の対向端部の間に幅“d”の開口(PM)が画定され、

前記ピボットポケット(P)の前記内側ピボット面(PS)の第2の対向端部(PS2)の一部が、取付けノッチ(IN)を画定するために除去されており、

前記シュー(S)の前記ピボット端(S1)は、前記ピボットバレル(S4)から外側に突き出た外側補強リブ(SR)をさらに備え、前記外側補強リブの少なくとも一部は前記取付けノッチ(IN)に位置する、ブレード型チェーンテンショナ。

【請求項2】

前記ピボットポケット(P)の前記内側ピボット面(PS)は中心軸(X)の周りに画定され、前記ピボットポケットの前記内側ピボット面(PS)と前記ピボットバレルの前記外側ピボット面(S 5)は前記中心軸(X)を中心として共軸に配置されている、請求項 1 に記載のブレード型チェーンテンショナ。

【請求項 3】

前記シュー(S)の前記外側ピボット面(S 5)は、外径“ D ”を持ち、前記開口(PM)の幅“ d ”は前記外側ピボット面(S 5)の外径“ D ”より小さい、請求項 1 又は 2 に記載のブレード型チェーンテンショナ。

【請求項 4】

前記取付けノッチ(IN)は、外側補強リブ(SR)のための空間を与える取付け傾斜部(IR)を含み、前記内側ピボット面(PS)の前記第 2 の対向端部(PS 2)の除去されない残りの部分が固定タブ(LT)を確定し、前記固定タブ(LT)は前記取付け傾斜部(IR)から外に突き出しており、前記外側補強リブ(SR)は前記固定タブ(LT)に隣接して存在する、請求項 1 から 3 の何れか一項に記載のブレード型チェーンテンショナ。

【請求項 5】

前記外側ピボット面(S 5)は、
前記外側ピボット面(S 5)が、前記ピボットバレルの前端(S 4 f)から前記ピボットバレルの後端(S 4 r)まで実質的に連続的に延びている、第 1 の領域(S 5 a)と、
前記外側ピボット面(S 5)が、前記外側補強リブ(SR)によって、前記外側補強リブと前記ピボットバレルの前記前端(S 4 f)の間に延びる前方部分(S 5 f)と、前記外側補強リブと前記ピボットバレルの前記後端(S 4 r)の間に延びる後方部分(S 5 r)と、に分割される第 2 の領域と、

を備える、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載のブレード型チェーンテンショナ。

【請求項 6】

前記プラケット(K)は一体成型の樹脂構造で、前記主壁(MW)、前記傾斜部(R)及び前記ピボットポケット(P)を備える、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載のブレード型チェーンテンショナ。

【請求項 7】

前記プラケット(K)は、前記主壁(MW)に結合されて前記主壁から外側へ延びる支持ブロック(KB)を備え、前記傾斜部(R)は前記支持ブロックの表面によって設けられ、前記ピボットポケット(P)は前記支持ブロック(KB)内に形成される、請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載のブレード型チェーンテンショナ。

【請求項 8】

前記プラケット(K)は、前記傾斜部(R)の外側端部から横方向に延びる外壁(OW)を備え、前記プラケット(K)が前記主壁(MW)と前記傾斜部(R)と前記外壁(OW)との間に位置する溝(CH)を備え、前記シュー(S)の前記自由端(S 2)は前記溝(CH)の中に位置する、請求項 6 又は 7 に記載のブレード型チェーンテンショナ。

【請求項 9】

前記ピボットポケット(P)の前記内側ピボット面(PS)が前記第 1 及び第 2 の対向端部(PS 1 、 PS 2)の間で 180 度を超えて延び、前記シュー(S)の前記ピボット端(S 1)が前記中心軸(X)の周りを前記ピボットポケットに対して相対的に角運動可能であり、前記ピボットポケット(P)は前記シューの前記ピボット端(S 1)が前記中心軸(X)に対して横方向へ運動することを妨げる、請求項 2 から 8 のいずれか一項に記載のブレード型チェーンテンショナ。

【請求項 10】

前記シュー(S)の前記自由端(S 2)は、前記自由端(S 2)が前記傾斜部(R)から離間された取付け位置へ選択的に移動可能であり、前記シューの前記自由端(S 2)が取付け位置にある場合に、前記シューの前記ピボット端(S 1)は、前記中心軸(X)に沿って前記ピボットポケット内を軸方向に移動可能である、請求項 2 から 9 のいずれか一

項に記載のブレード型チェーンテンショナ。

【請求項 11】

ブレード型チェーンテンショナ(T)の組立方法であつて、

テンショナブレードアセンブリ(BAS)のピボットバレル(S4)を、ピボットポケット(P)の中心軸(X)に沿って前記ピボットポケット(P)の中へ摺動させることにより前記テンショナブレードセンブリ(BAS)をブラケット(K)へ動作可能に結合して、前記ピボットバレルの外側ピボット面(S5)と、前記ピボットポケットの内側ピボット面(PS)とが相互に摺動自在に当接するとともに、前記中心軸(X)の周りに共軸となり、

前記テンショナブレードアセンブリ(BAS)を前記中心軸(X)の周りに枢動させて、前記テンショナブレードアセンブリの自由端(S2)を移動させて前記ブラケットの傾斜部に接触させ、主壁(MW)、傾斜部(R)及び、前記傾斜部に接続し前記主壁から離れている外壁(OW)で形成される溝に位置させ、

取り外し可能なピンを前記外壁(OW)に備えられた開口(O1)を通して挿入し、前記テンショナブレードアセンブリ(BAS)の前記自由端(S2)の開口(O2)に挿入して、前記テンショナブレードアセンブリ(BAS)を前記ブラケットに仮保持させる、組立方法。